

「戦後補償は決着」

羽田外相 慰安婦などは別個に

73
8/20
②

羽田外相は二十日午前の閣議後の記者会見で、細川護国首相が戦争責任の明確化を打ち出し、日本の戦後補償問題が再燃するきざしが出ていることについて「第二次大戦で各国に迷惑

うことだ。補償への言及ではない」と述べ、国家間の補償問題はサンフランシスコ平和条約や二国間条約によってすでに決着済みとする従来の政府方針を踏襲する意向を示した。

ただ、羽田外相は従軍慰安婦問題などへの補償について「特殊なものや人道的なものへの対応はやっては別個の問題として対処す

「戦争責任と賠償は別」

石田
総務庁長官

石田幸四郎総務庁長官は二十日の閣議後の記者会見で、第二次世界大戦の戦争「気持ち」を配慮すべきだとの「遺族の」反論もあるが、そのことと

国の責任とは分けて考えないといけない」と述べ、細川首相の所信表明演説では「侵略戦争」と明確に表現すべきだとの考えを示した。しかし、賠償問題については「国家間で決着をみている」として、戦争責任の問題とは区別すべきだとの認識を明らかにした。